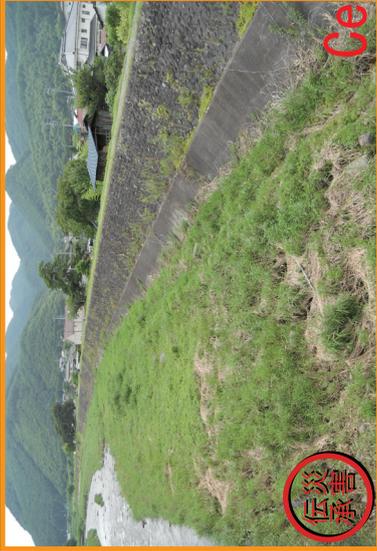


FI/Tr

一文字堤防



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県小県郡長和町
古町上町古町橋脇
緯度・経度：北緯 36 度 15 分 58.7 秒
東経 138 度 15 分 52.6 秒
伝承形式：土木構造物・工事
種類 / 要因：洪水・湛水 / 集中豪雨
災害発生：1959 年（昭和 34 年）8 月 14 日
建立時期：不明
指定等：なし
周辺地形：谷底平野

言い伝え・伝説



観光情報はこちら

古町橋の上流左岸に数百メートルにわたって構築された一文字堤防は、戦国時代に武田信玄によって築かれたと伝承されています。長和町は1958年（昭和33年）9月17日に台風21号、また翌年8月14日にも台風7号で大きな被害を受けています。

周辺案内

長和町の古町（旧長窪古町）に所在する古町豊受大神宮では、毎年1月14、15日に行われる例大祭は、通称「おたや祭り」と呼ばれ、江戸時代から続いています。4、5万人の参拝者で賑わいます。古町地区の沿道5箇所には、長野県無形民俗文化財選挙に指定される「山車」が飾られ、参拝者を楽しませます。